



川崎市立多摩病院



聖マリアナ医科大学

40号

夏

たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2023



月経痛でお困りですか？

産婦人科 部長 大熊克彰

『月経困難症』について

月経期間に起こるお腹や腰の痛みなど不快な症状を月経痛と言います。これは月経血を子宮から体外に排出する過程で痛みが起こります。この痛みによって日常生活や仕事に支障をきたす場合は月経困難症となり、治療の対象となります。症状は下腹痛や腰痛以外にも、腹部膨満感、吐気、食欲低下、下痢、頭痛、疲労感、脱力感、めまい、動悸、イライラ、憂うつ感、不安感など精神症状を伴うこともあります。月経困難症は、機能性月経困難症と器質性月経困難症の大きく2つに分けられます。機能性月経困難症は10～20代の若年女性に多く、過度の子宮収縮や子宮の出口がまだ狭い事が原因で起こります。器質性月経困難症は子宮筋腫、子宮内膜症、子宮形態異常などの病気を伴うものです。現在、わが国では子宮内膜症が増加傾向にあり、それに伴って器質性月経困難症の方も増加しています。月経痛などに対して消炎鎮痛剤が無効の場合は、漢方薬や月経困難症に対する治療薬としてLEP (low dose estrogen progestin) 製剤としての保険適用薬があります。当科でもOC/LEP製剤、黄体ホルモンのみのジェノゲスト® や内服不要で5年間子宮内に挿入して避妊効果と無月経状態にして月経困難症を緩和するミレーナ® も取り扱っていますので是非ご相談下さい。定期的に検査して異常が無ければ、閉経に近い50歳前後まで安全に使用できますので女性のQOLの向上には有益だと思えます。



部門紹介

産婦人科



産科はNICUが無いいため妊娠36週以降のリスクの無い分娩を行っています。
 夫たちあい分娩、退院後の育児不安な方のための産後ケア入院、助産師外来は継続中
 です。分娩制限はしておりませんので、他院での健診途中からでも当院にて分娩可能です。婦人科は良性疾患と早期の悪性腫瘍を取り扱っております。卵巣腫瘍に対しては腹腔鏡下手術、子宮筋腫などへの腹腔鏡下子宮摘出術、子宮鏡下手術を施行しています。

多摩病院の職員が出演しているラジオ番組をご存じですか？

みなさまに役立つ医療情報を発信しています



この記事をお読み頂いているみなさまは、かわさきFM (79.1MHz)をお聴きになったことがあるでしょうか？第4火曜日の10時15分、ラジオからの声に耳を傾けてみませんか？我が多摩病院が協力している『知って安心！かわさきメディカルインフォ』のコーナーを聴取できます。最近では、Listen Radio (リスラジ) というアプリで、スマホやPCでもお聴き頂けます。

このコーナーは、パーソナリティの山根聖美さんの明るく歯切れのよい語り口が印象的で、医療の話題を分かり易くお伝えしています。山根さんは患者さまやそのご家族の立場で我々医療者に質問するので、リスナーからは高評価を頂いています。さらに、上手に出演者の魅力を引き出して下さるので、とても楽しい収録になります。嬉しそうに目尻の下がった私が図1に写っております。

多摩病院から上質の医療情報を発信するため、様々な立場の職員が出演しています。昨年度の出演者を図2に示します。病気や治療に関わる知識から、ご家族支援や患者さまに寄り添う医療者が思うことまで、多彩で興味深いお話が満載です。市民のみなさまのために我々が貢献することで、多摩病院の魅力をお伝えできれば嬉しいです。

川崎市立多摩病院小児科部長 聖マリアンナ医科大学小児科学教授 岩崎俊之



図1：2022年度第1回出演時の風景

	出演者所属	役職	出演者名	タイトル	収録日	放送日
お話し出演	小児科	部長	岩崎 俊之	「こんなときどうする?! 子どもの症状のあれこれ」	—	9月27日
第1回	小児科	部長	岩崎 俊之	「こんなときどうする?! 子どもの症状のあれこれ ~ 発熱編 ~」	10月18日	10月25日
第2回	薬剤部	主任	土岐 真緒	「その高血圧、放置したままでいいですか?」	11月15日	11月22日
第3回	整形外科	副部長	大沼 弘幸	「ストレスで腰痛になるの!? 重大な疾患が潜むことも!」	12月20日	12月27日
第4回	看護部	家族支援 専門看護師 部長	藤井 真樹	「録音でもない? もしものときの人生会議」	1月17日	1月24日
第5回	看護部	認知症看護 認定看護師 主任	小室 香	「認知症を怖い病気だと思いませんか?」	2月21日	2月28日
第6回	救急災害医療センター 医療安全管理室	センター長 室長 副室長	田中 拓 本鍋田 由美子	「安心で安全な医療を受けるために知って欲しいこと」	3月14日	3月28日

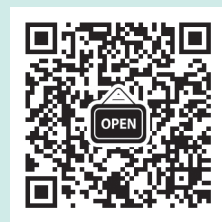
図2：2022年度出演者一覧

院内糖尿病教室を再開しました

COVID-19の流行により院内の集団での糖尿病教室は、一時中止しておりましたが、今年5月から糖尿病教室を再開しました。糖尿病の治療は生活習慣に密着しており、生活パターンに合わせた治療や、食生活・運動の改善が求められます。現在、色々な情報がインターネットにUpされており、嘘や間違った情報も散見されます。患者さんやそのご家族、医療スタッフ自身も、正しい知識を持つことが、糖尿病療養において何より大事です。以前、教室を受けたことがある方も、医療は日々進歩しており、この機会に参加してみたいはいかがでしょうか？また、当院では縮小版糖尿病教室をYouTube上にUpしております。

<https://tama.marianna-u.ac.jp/news/patient/20230612.html>

下記の二次元バーコードからアクセスして下さい。



たま病院ニュースレター No.40 令和5年度 夏号

川崎市立多摩病院

聖マリアンナ医科大学 指定管理者